



ほくの名前が
シカオに決まったよ。
これからヨロシクね!

北海道の国際協力情報紙



2009
AUTUMN
VOL. 54



特集

考えよう、水の量。

今年の夏は北海道でもたくさん雨が降り、農作物への影響が心配されました。世界の国々の中には、毎日の飲み水や生活用水を手に入れることにも苦労している国がまだまだたくさんあります。今号では、暮らしの中の水問題について考え、研修事業を通じて解決を図ろうとするJICA札幌の取り組みをご紹介します。

飲み水が足りない！ 開発途上国の水事情



ガーナの水汲みの様子

朝の水くみ風景。水運びは女性や子どもたちの仕事です。子どもたちは毎朝水運びを済ませてから学校に通います。水を張ったたらいを頭にのせて、みんな上手に歩いてますね！



〈ガーナ〉



日本の協力で建設された井戸から水をくむガーナの母子。自宅に水道がないのは大変そうですが、きれいな水が手に入るようになって安心です。

安全な水が
手に入って
実はとっても恵まれた
ことだったんだね。



国際協力で何か
できることはあるかな？
続きは次のページで！



ネパールの共同水場にて

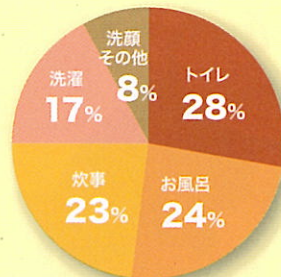


〈ネパール〉

首都カトマンズでは、人口の急増に水道施設の拡大が追いつかず、毎朝水を求めて人々が長い列を作ります。水をくめる量は1家庭あたり水がめ1個まで。塩素などで浄化された水ではないので、衛生面でも問題があります。

知っていますか？私たちが使う水の量

日本人が1日に使う水の量は、1人あたり約240リットルといわれています。240リットルといわれてもあまりピンと来ないかもしれませんが…いったい何に使っているのでしょうか？



このグラフは、日本人の家庭での水の使い道を示したものです。1番多く水を使っているのはトイレなんです。水洗トイレの場合、1回流すと約8リットルの水が使われるそうです。

出典：平成14年東京都水道局調査

国連によれば、人の生活に必要な最低限の水の量は「1日20リットル」だそうです。トイレ1回流するのに8リットルも消費していたら、とても20リットルでは足りませんね…でも、砂漠に近いアフリカでは、1日わずから5リットルで生活しなければならない国もあるのです。